

市町村指定文化財取材票 《表》

取材日	2023年	6月	17日	(記入者) 久門たつお
取材参加者	小倉	垣内	久門	小西 島田
取材対象先	天理市：小路町の木心乾漆地蔵菩薩立像			

所在地	天理市小路町、弥勒堂（八幡神社の北隣）			
所有者（取材 対応者）名	小路町自治会の***副区長と ***さん		連絡先	***
			PCアドレス	
取材申込	申込先・行政名など：天理市文化財課、***小路町区長			
市町村 指定文化財	彫刻	1躯	木心乾漆地蔵菩薩立像 1981（昭和56）年11月7日指定	
	建造物	棟		
文化財指定理由	木心に乾漆を盛り上げて成形する木心乾漆の技法で平安時代前期（9世紀ごろ）の制作と推定され、国内でも初期のものとして貴重。			

文化財の状況

	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
防火対策	消火器の格納箱は木製外壁に設置。火災感知器などは設けていない。	弥勒堂内では清掃を兼ねた月1回のお参りの際、ロウソクを使っている。それ以外に火の気はなく、問題ないと思われる。
獣害対策	被害の有無、対策など 5年ほど前、台風の影響で雨漏りがし、畳を取り替えた際、床の下でシロアリ被害が見つかり、対処した。現在、アライグマなどの被害はない。	記入者の感想 特にない。
保存～継承 へ 苦労と 今後の課題 と対策	小路町自治会は46戸で組織され、弥勒堂の管理も行なっている。月1回の清掃とお参りを当番制で実施。地域住民で地蔵菩薩立像や石彫りの弥勒菩薩像などを大切にお守りしておられる。1995（平成7）年1月の阪神大震災で、当時既に市指定文化財だった地蔵菩薩立像が祭壇から1mほど下の畳に落下、衝撃で乾漆が多数はがれ落ちた。行政による補修を希望しているが、予算的な問題で棚上げになったまま月日が経過している。	

取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題（修復、維持、管理、環境など）

5年ほど前の台風で雨漏りがした。老朽化が進み、耐震性に課題がある弥勒堂という小さな建物で、今後も市指定文化財を守っていくことの難しさ、限界があるように思われた。

市町村指定文化財取材票<<裏>>

取材日	2023年	6月	17日	(記入者) 久門たつお	
取材参加者	小倉	垣内	久門	小西	島田
取材対象先	天理市：小路町の木心乾漆地蔵菩薩立像				

<写真撮影許可済み>

文化財指定名 木心乾漆地蔵菩薩立像

文化財 (正面写真)	文化財 (角度を変えて、写真)
	
木心乾漆地蔵菩薩立像を安置する彌勒堂	彌勒堂の外部に設置された消火器
	
文化財の由緒などを記入	所有社寺や地域(廃寺等)の歴史や特徴を記入
<p>檜の木心に乾漆を4cmほど盛り上げて整形する木心乾漆の技法で制作されている。このような制作技法は奈良時代後半から平安時代初期にかけて盛んに用いられた。仏像表現もおおらかで、衣の襞(ひだ)もゆったりと伸びやかに造られ、9世紀ごろの制作と推定される。地蔵菩薩としては市内最古で、国内でも初期の例の一つである。(以上、天理市教委発行「天理市文化財・遺跡分布地図」から)</p>	<p>彌勒堂は宝形造り瓦葺き。建造時期は不明だが、屋内に掲示されている文字資料から江戸時代後期から明治時代と推測されるという。木心乾漆地蔵菩薩立像の由緒・来歴は不明。京都のある大学の研究者らが10年ほど前に調査に訪れ、自治会も協力したが、像の胎内に墨書などは見つからなかったようだ。</p>